

争いの平和的解決を

三十三回生 佐久間 秀一

今なら、話し合い、議会、裁判などで決められることが、大昔は田畑の水をめぐる争ったり、戦国時代は国単位で戦いを繰り返しました。歴史をみると争いの単位が集落から地域、国と大きくなっていきます。今の戦争の単位は国家、宗教の単位で行われていますが、今の世を後世の人が見たら、なんで平和に解決できなかったのか？・・・と不思議に思ったのではないのでしょうか。

その時代の戦争で沢山の悲劇が起きて、もう戦争はやめようと誓ったはずなのに、時間が過ぎて世代が変わると悲惨な話は風化して、勇ましい話だけが残り、また戦争が始まる・・・という繰り返しは終わりにしなければいけないと思います。

狭い地球で戦争を始める勇氣があるなら、その勇氣を平和的に解決するために使うことが必要だと思います。

おわり